

協会ニュース

平成 25 年 10 月 24 日

中国地区品質経営協会
広島市西区横川町 3 丁目 5 番 9 号(世良ビル 404 号)
TEL(082)532-6844 FAX(082)532-6845
e-mail; qmac@a1.mbn.or.jp
URL; http://qmac.jp/

平成 25 年度 第 2 回シンポジウム「モノづくりマネジメント技術革新」 ～モノづくりへの挑戦 メイドイン ヒロシマ～

- ◆ 開催日時：平成 25 年 10 月 24 日 (木) 13:00～17:00
- ◆ 会場：広島商工会議所 101 会議室 (広島市中区)
- ◆ 参加者：24 社 171 名 (内 3 社 5 名会員外)

お客様の要求にこたえるモノづくりは、新規開発は勿論、ベースとなる基礎技術、管理技術を愚直に追求し、積み重ねることが肝要です。今回は、まさしく、これを実行し、成功された、広島県の地場産業 2 社の事例を紹介するシンポジウムが、平成 25 年 10 月 24 日、広島商工会議所において 171 名の参加者のもと、盛大に開催されました。

最初に、西川ゴム工業株式会社 齋藤修 氏より『現場力向上活動 ～工程管理改革～』と題して「良品稼働率管理」という手法を使い、現場力のスパイラルアップについて御講演いただき、モチベーション及び人材教育の大切さを再認識する内容でした。会場からは『よくここまで資料を出していただいた』という驚きの声も聞かれました。

続いて、マツダ株式会社 野村祐士 氏より『マツダのモノづくり革新』についてご講演いただきました。マツダが 2006 年より取り組んできたモノづくり革新、そもそも何故モノ造り革新が必要となり活動するに至ったのか？ 2007 年に宣言したサステナブル Zoom-Zoom 宣言とは何か？ そのモノ造り革新をどのような考え方、プロセスで実践してきたか？について事例をまじえ、開発と製造が協業することで成しえた非常に興味深い内容でした。

お二人の講演後、広島大学大学院工学研究科教授の高橋勝彦先生をコーディネーターとして迎え、パネルディスカッションが行われました。会場から寄せられた質問に、各パネリストが回答することで、講演内容についてより詳しく理解することができました。

アンケート結果では、『日本のモノづくりの原点がここにあるように思った』などの感想が寄せられ、非常に有意義なシンポジウムとなりました。



西川ゴム工業(株) 齋藤氏



マツダ(株) 野村氏



広島大学大学院 高橋教授



パネルディスカッションの様子



会場の様子